

「ひとりにしない」という支援 —伴走型支援と地域共生社会— 2021年7月UAゼンセン

NPO法人 抱樸

NPO法人 ホームレス支援全国ネットワーク

一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク

一般社団法人 全国居住支援法人協議会

公益財団法人 共生地域創造財団

一般社団法人 日本伴走型支援協会

一般社団法人 日常生活支援住居施設全国協議会

東八幡キリスト教会

代表 奥田知志



抱樸(ほうぼく)

「ひとりにしない」と言う支援

- ・ 老子の言葉「素を見し樸を抱き」
- ・ 樸＝原木/荒木のまま抱く
- ・ 原木/荒木は無限の可能性を持つ
- ・ 荒木ゆえに傷つく＝絆は傷を含む

抱樸館（ほうぼく）由来

みんな抱（いだ）かれていた。眠っているに過ぎなかった。泣いていただけだった。これといった特技もなく力もなかった。重みのままに身を委ね、ただ抱かれていた。それでよかった。人は、そうしてはじまったのだ。ここは再びはじまる場所。傷つき、疲れた人々が今一度抱かれる場所―抱樸館。

人生の旅の終わり。人は同じところへ戻ってくる。抱かれる場所へ。人は、最期に誰かに抱かれて逝かねばなるまい。ここは終焉の地。人がはじめにもどる地―抱樸館。

「素を見し樸を抱き」―老子の言葉。「樸（ぼく）」は荒木（あらき）。すなわち原木の意。「抱樸」とは、原木・荒木を抱きとめること。抱樸館は原木を抱き合う人々の家。山から伐り出された原木は不格好で、そのままではとても使えそうにない。だが荒木が捨て置かれず抱かれる時、希望の光は再び宿る。

抱かれた原木・樸は、やがて柱となり、梁となり、家具となり、人の住処となる。杖となり、楯となり、道具となって誰かの助けとなる。芸術品になり、楽器となって人をなごませる。原木・樸はそんな可能性を備えている。まだ見ぬ事実を見る者は、今日、樸を抱き続ける。抱かれた樸が明日の自分を夢見る。

しかし樸は、荒木である故に少々持ちにくく扱い辛くもある。時にはささくれ立ち、棘とげしい。そんな樸を抱く者たちは、棘に傷つき血を流す。だが傷を負っても抱いてくれる人が私たちには必要なのだ。樸のために誰かが血を流す時、樸はいやされる。その時、樸は新しい可能性を体現する者となる。私のために傷つき血を流してくれるあなたは、私のホームだ。

樸を抱く―「抱樸」こそが、今日の世界が失いつつある「ホーム」を創ることとなる。

ホームを失ったあらゆる人々に今呼びかける。「ここにホームがある。ここに抱樸館がある」。

■ 抱樸の活動



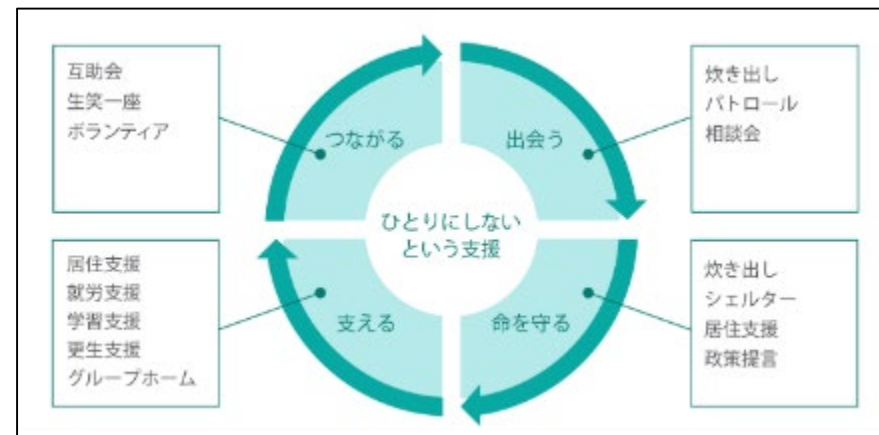
社会に居場所がない。困っているのに、「助けて」と言える誰かがいない。生きること疲れ果て、自分が困っていることにさえ気づけない。— 私たちの周りには、見えるところにも、そして見えないところにも、多くの孤立と困窮の現実があります。

私たちは、誰も取り残されない社会をつくりたい。誰もがありのままの状態を受け入れられる社会をつくりたい。「自己責任」と、家族の役割ばかりが大きくなっていく風潮の中で、何の心配もせずに「助けて」と言える社会をつくりたい。

32年の活動を通して、ホームレスの数は減少しました。

路上で生活する人が減っても、見えない貧困は増えています「ネットカフェ難民」という言葉に象徴されるような、見えづらくなった貧困。そして、本当に困ってしまったときに頼れる他者がいないという社会的な孤立。

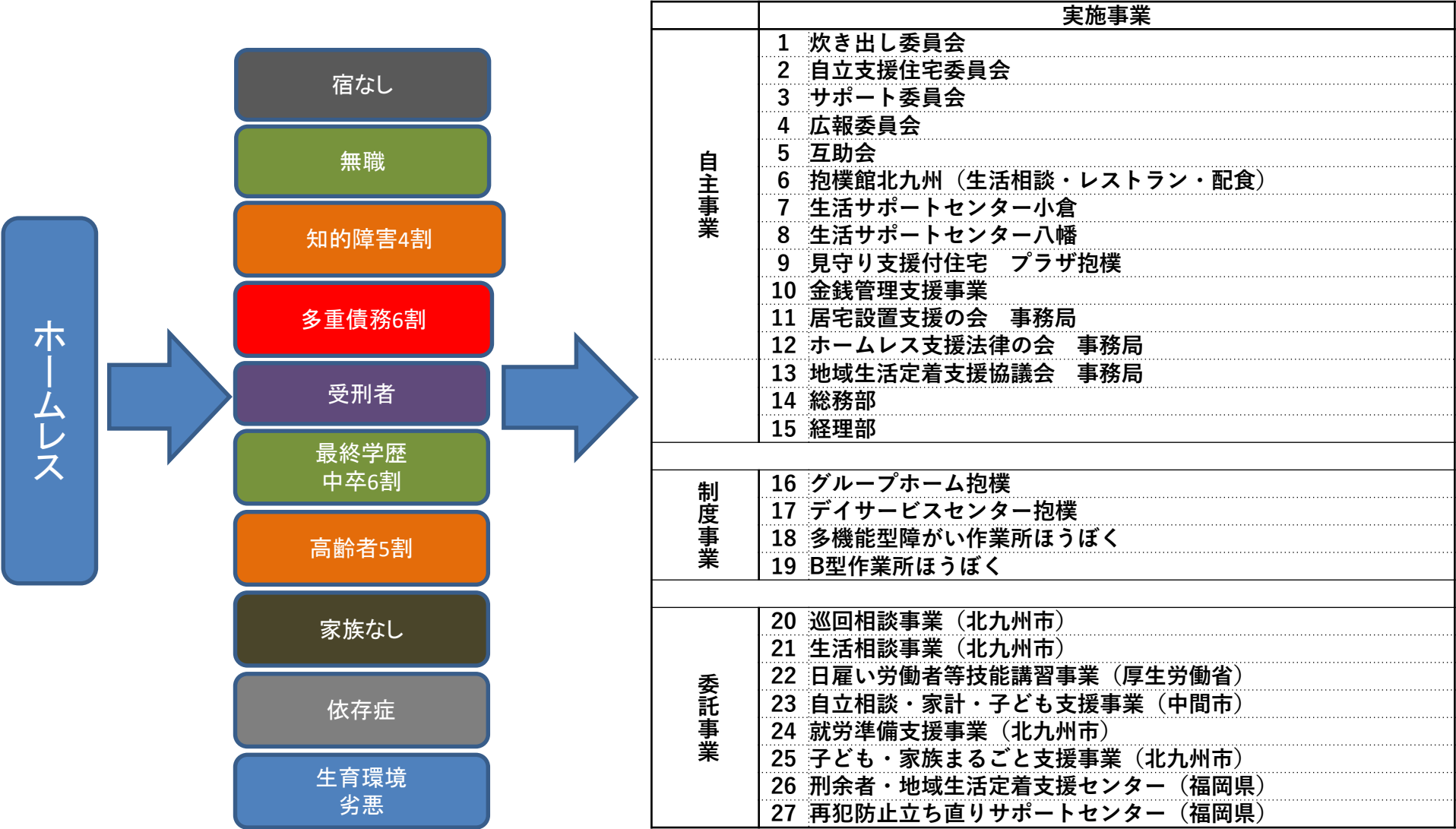
貧困、格差、そして孤立はもはや常態化しています。もし、いざと言うときに頼れる人が誰も思い浮かばなかったら、あなたも「家のあるホームレス」かもしれません。私たちはそんな社会をどうしても変えたい。北九州から日本中に、誰も孤立しない社会を広げます。



NPO法人抱樸の活動特徴⇒自由

①人を属性で見ない ②一人との出会いから事業展開 ③断らない

抱樸27事業 自主事業 15事業 制度事業 4事業 委託事業 8事業



……何よりも大切にしていること
「ひとりにしない」という支援

1、社会的孤立への注目

地域共生社会の議論から

(「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」最終とりまとめ 令和元年 12 月 26 日)

1 地域共生社会の理念とその射程

○日本の社会保障は、他の先進諸国同様に、人生において典型的と考えられるリスクや課題を想定し、その解決を目的として、それぞれ**現金給付**や福祉サービス等を含む**現物給付**を行うという基本的なアプローチの下で、公的な保障の量的な拡大と質的な発展を実現してきた。

☞これまでの社会保障の中心⇒現金給付・現物給付中心

☞ケアやつながり⇒家族、地域、会社が担当

しかし、その前提が崩れたにも拘わらず「身内の責任」は健在

※8050問題・・・「ひきこもり」は日本独自

■生活困窮者自立支援制度

■地域共生社会

（重層的支援体制整備事業）

共通する視点

⇒ 「社会的孤立」

2018年1月18日英国「孤独問題担当大臣」新設

国家損失年間4.9兆円（320億ポンド）

英国の孤立率 5%（日本15.3%）

◆赤十字社など13の福祉団体連携⇒2017年に約1年間かけて調査実施

◆孤独の実態

①英国（6500万人）で900万人以上が「常に」あるいは「しばしば」孤独感あり

②内3分の2が「生きづらさ」感あり

③月に一回会話なし高齢者が20万人

④身体障害者の4人に1人が日常的「孤独」

⑤子どもを持つ親の4分の1が「常に、しばしば孤独」

⑥400万人以上の子どもが「孤独」でチャイルドライン（相談窓口）に相談

⑦「孤独が人の肉体的、精神的健康を損なう」と警告。

※孤独の健康被害⇒肥満・一日に15本喫煙よりも有害

孤立の現実と課題

①英国対比 日本・・・人口約2倍 孤立率・・・約3倍

※単純計算で30兆円の国家損失

②英国医療現場⇒『Social prescribing(社会的処方)』

『薬』ではなく『社会関係』(の改善策)を処方する・・・医療費20%縮小

③三木清「人生論ノート」から・・・**孤独は街にある**

「孤独といふのは獨居のことではない。獨居は孤独の一つの條件に過ぎず、しかもその外的な條件である。むしろひとは孤独を逃れるために獨居しきへするのである。」

「**孤独は山になく、街にある。一人の人間にあるのではなく、大勢の人間の『間』にあるのである。**孤独は『間』にあるものとして空間の如きものである。「真空の恐怖」—それは物質のものでなくて人間のものである。」

「孤独・孤立対策」担当に坂本少子化相首相指示

2021年2月12日



コロナ禍による「孤独」への危機感を打破するヒントとは？
第7回「孤独論」5月14日（金）[Eテレ] 後10:00

池田 昌弘
NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長

つながりを切らない！
感染予防と工夫で、家族、友人、近所が気にかける声をかけ合う地域に。見守りや身体活動等を専門職も一緒になって広げよう！

栗林 知絵子
NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長

地域の子どもの見守り育てることができるのは、近所に住む地域住民です。
勇気を出して「おせっかい」しましょう。
あなたの一言が、子どもの未来を変えます。

奥田 知志
NPO法人抱擁理事長

経済的困難と社会的孤立を同時に解消する仕組みが必要です。「この人には何が必要か」と共に「この人には誰が必要か」を問い続ける社会で在りたい。

大空 幸星
NPO法人あなたのいばしょ代表

「あなたのせいではありません。」
誰かに頼るのは、恥ずかしいことでもない。
赤しみの果てには幸せがあると信じる社会を共に目指しましょう。

米山 広明
一般社団法人全国フードバンク推進協議会事務局長

困ったときはお互い様、
一人で悩まず、声を上げてください

清水 康之
NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表

新しいつながりが、新しい解決力を生む。
誰もが命の危機に直面しかねない不安な状況だからこそ、「誰もが生きる道を巡る社会」の実現へ。

湯淺 誠
NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長

人々はすでに
「つながりつづける力」を発揮している

橋 ジュン
NPO法人BONDプロジェクト代表

生きづらさを感じている女の子たちへ。
落ち着かなくて不安な時はSOSを出してはいいよ。
声を聞かせてね。
安心できる心の居場所、一緒に作っていきましょう。

服部 幸應
学校法人服部学園理事長

コロナ禍ではオンラインでもいいので、
週に1回、おじいちゃん、おばあちゃんと共に食事をしませんか。

中川 翔子
歌手・タレント

今はみんなで一つになって協力し合うことが大事。
悩めること、不安は身近にいる人に打ち明けて。
あなたは一人じゃない、手を取り合い繋がります。

あなたは一人じゃない！！
孤独・孤立を防ぎ、不安に寄り添い、つながるための緊急フォーラム メッセージ集

出席政府関係者

- ・ 総理大臣
- ・ 官房長官
- ・ 文科大臣
- ・ 厚労大臣
- ・ 国交大臣
- ・ 農水大臣
- ・ 環境大臣
- ・ 孤独・孤立担当大臣

二〇二一年2月25日（首相官邸二階大ホール）
孤独・孤立を防ぎ、不安に寄り添い、つながるための緊急フォーラム

孤立と孤独

社会的孤立

「家族やコミュニティとはほとんど接触がない」という客観的な状態

タウンゼント

Townsend, P. (1968) Isolation, desolation, and loneliness, Shanas, E., Townsend, P. and Wedderburn, D., et al. eds. Old people in three industrial societies, Routledge & Kegan Paul, 258-87

孤独

仲間づきあいの欠如あるいは喪失による好ましからざる感情（主観）を意味する

孤立（Isolation）と孤独（loneliness）は違う

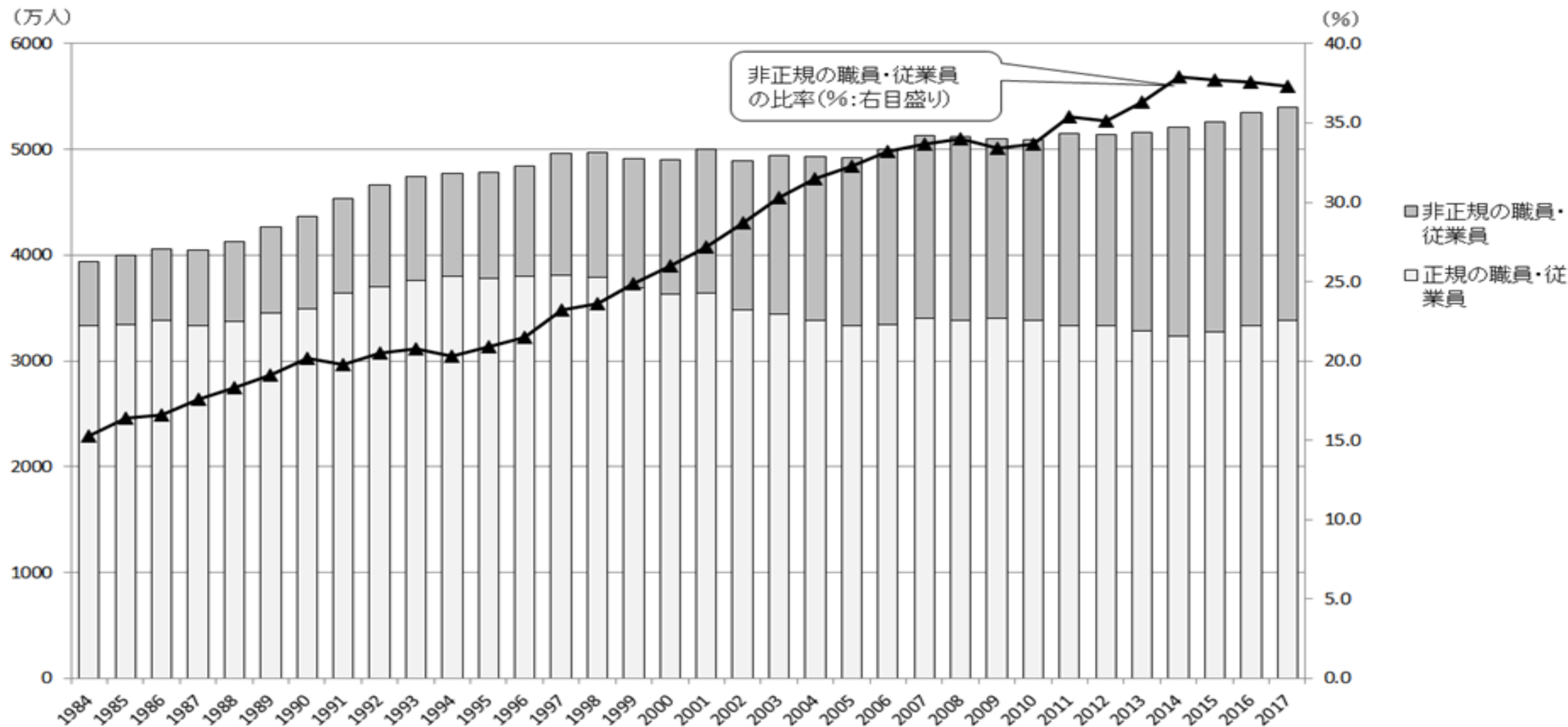
日本型社会保障システム

長期安定雇用を条件とした男性稼ぎ主の所得保障と女性による家事・育児・介護労働に基づく生活保障システム



1990年代後半以降のグローバル化、経済・政治・社会構造の変動に伴って「日本型生活保障システム」が崩れはじめる

正規雇用と非正規雇用の労働者の推移



注: 2001年以前は、総務省「労働力調査特別調査(2月)」, 2002年以降は「労働力調査詳細集計(1-3月平均)」により作成。

出典: 総務省「労働力調査 長期時系列データ」http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.htm#hyo_9

【日本型社会保障の脆弱化】

①家族の支え合いの脆弱化

☞核家族化

②企業にける家族の支えの脆弱化（扶養手当・退職金・住宅等）

☞非正規雇用率・・・1984年 15.3% 2020年・・・38.3%

③地域における互助的機能の脆弱化

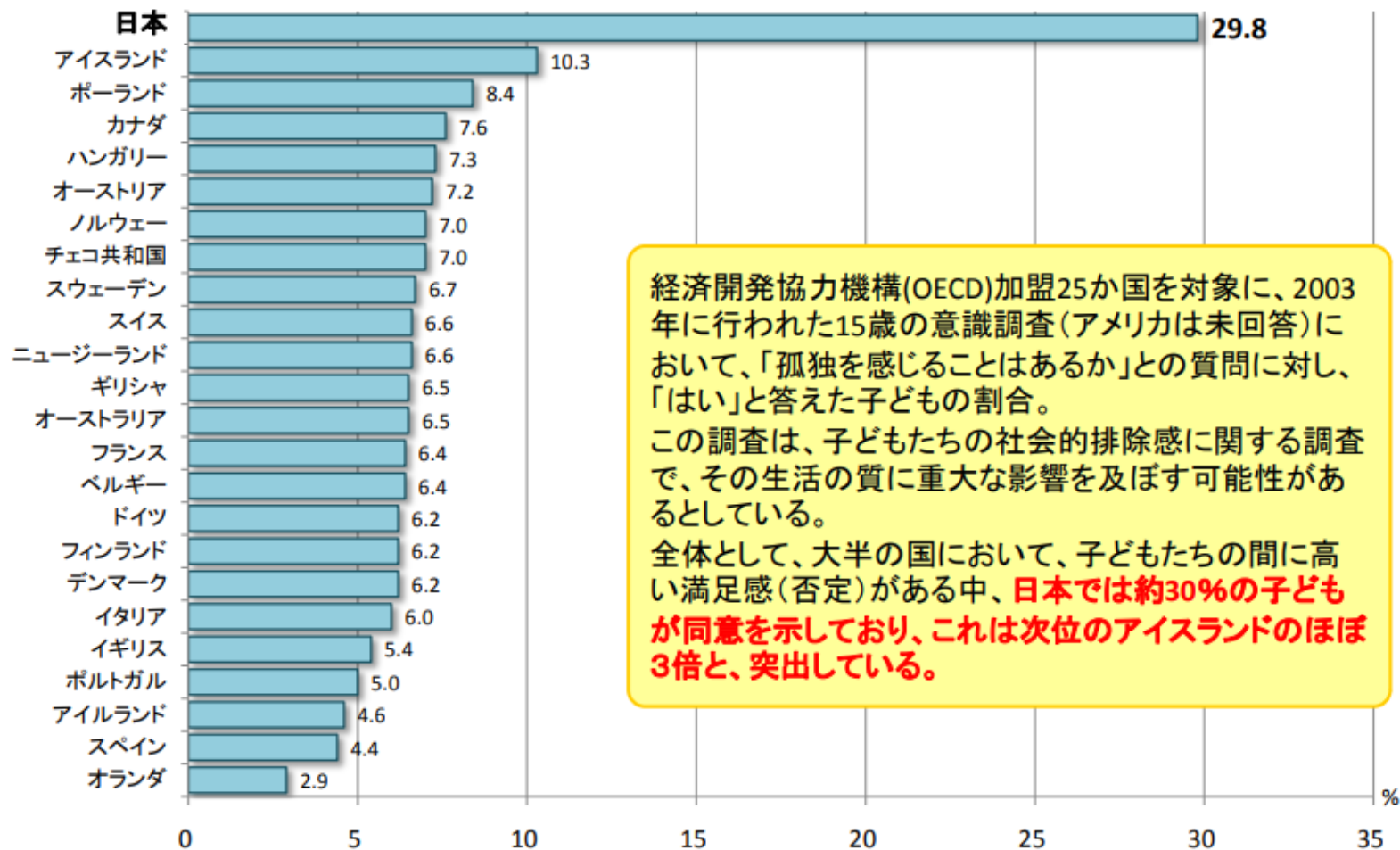
☞自治会加入率低下

☞不安定雇用と転居

※血縁、地縁、社縁の部分の脆弱化（無縁化）

☞孤立が深刻化

「孤独を感じる」と答えた子どもの割合



経済開発協力機構(OECD)加盟25か国を対象に、2003年に行われた15歳の意識調査(アメリカは未回答)において、「孤独を感じることはあるか」との質問に対し、「はい」と答えた子どもの割合。

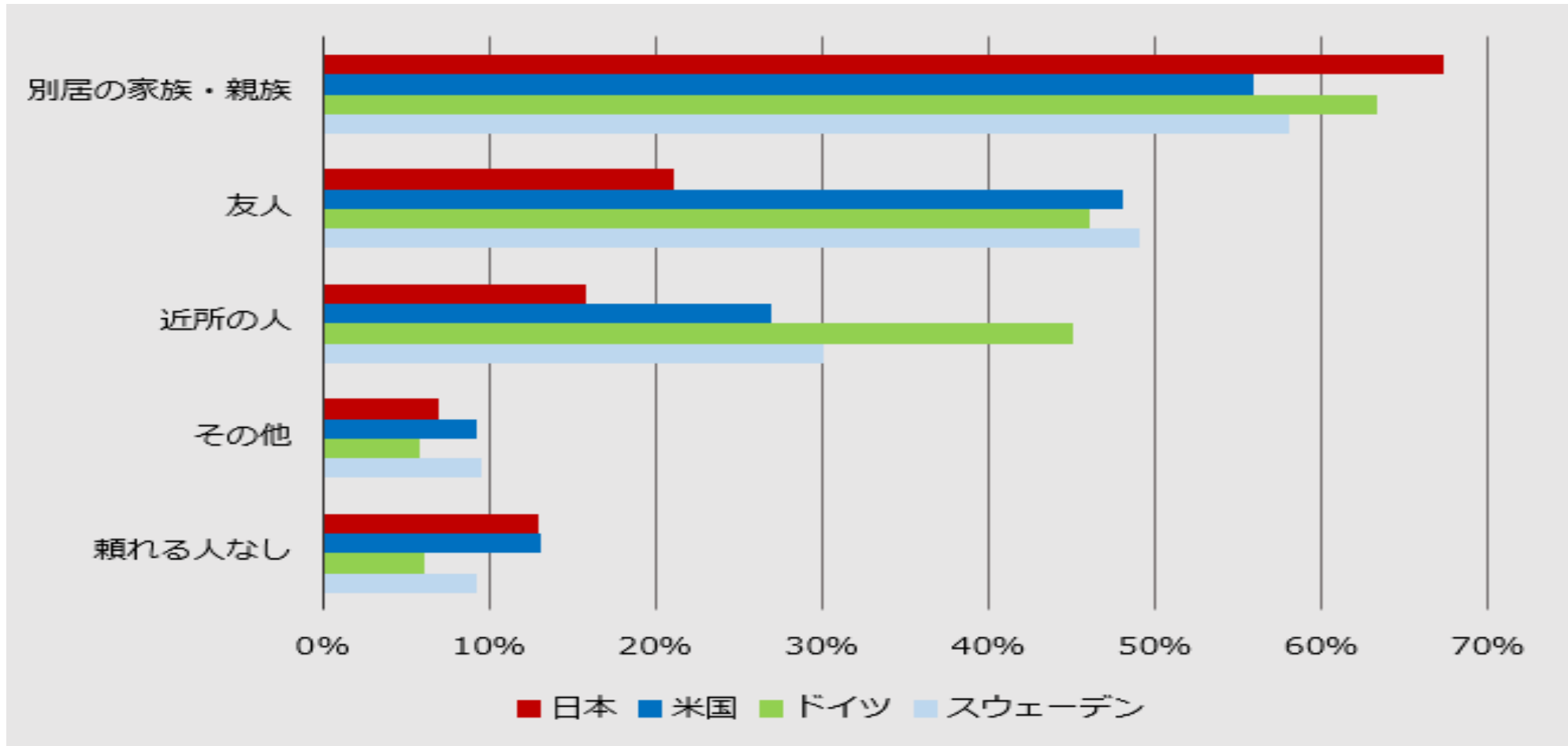
この調査は、子どもたちの社会的排除感に関する調査で、その生活の質に重大な影響を及ぼす可能性があるとしている。

全体として、大半の国において、子どもたちの間に高い満足感(否定)がある中、**日本では約30%の子どもが同意を示しており、これは次位のアイスランドのほぼ3倍と、突出している。**

UNICEF, Child poverty in perspective: An overview of child well-being in rich countries,
Innocenti Report Card 7, 2007 UNICEF Innocenti Research Centre, Florence.

日本の60歳以上単身者は友人や近所の人に頼れない

—病気などの場合に同居家族以外に頼れる人についての国際比較—



(注) 対象は60歳以上の高齢単身者。複数回答

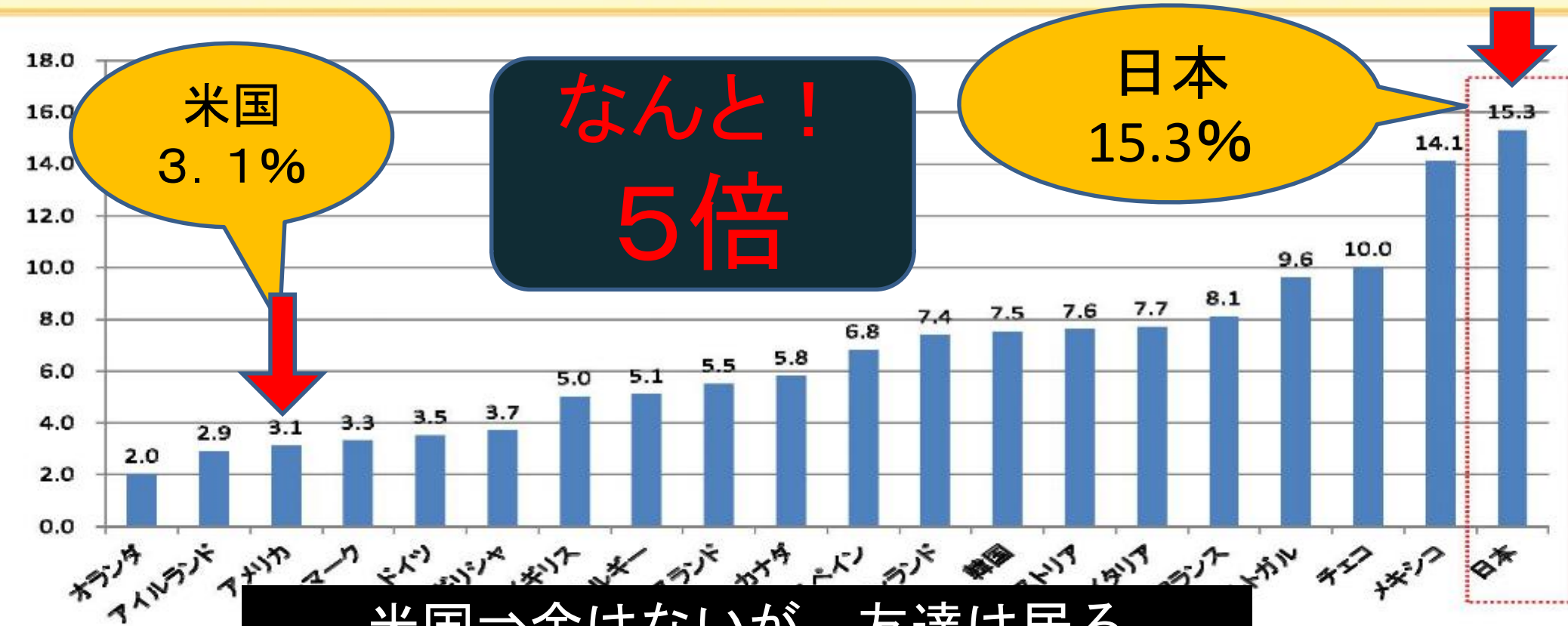
(出所) 内閣府「高齢者の生活と意識—第8回国際比較調査結果報告書」(2016年)を基に藤森克彦氏が作成

社会的孤立の調査 OECD諸国の比較

※相対的貧困率(2012年) 米国17.4% 日本16.1%

「家族以外の人」と交流のない人の割合（国際比較）

○ 日本では「友人、同僚、その他の人」との交流が「全くない」あるいは「ほとんどない」と回答した人の割合が15.3%あり、OECDの加盟国20か国中最も高い割合となっている。



(注) 友人、職場の同僚、その他の人との交流が、「全くない」

米国⇒金はないが、友達は居る
日本⇒金もないが、友達もいない

「全くない」あるいは「ほとんどない」と

Glance:2005 edition,2005,p8

孤立のリスクとは？

①「自分自身からの疎外」

- ☞ 人は、他者を通して自分の状態を知る。
- ☞ 自分とは何か、自分の存在意義、さらに自分の状態さえ正確に認識することが困難となり「自己認知不全」を起こす

②「生きる意欲・働く意欲の低下」

- ☞ 「何のために働くのか」・・・内発的な動機
- ☞ 「誰のために働くのか」・・・外発的な動機
- ☞ 意欲低下は自殺の危険性を高める

③「社会的サポートとつながらない」

- ☞ 良い制度も、知らない、教えてくれる人がいない、つないでくれる人がいないと存在しないと同じ
- ☞ 対処が遅れ問題が深刻化し社会保障のコストも増大する。

3、困窮の視点

二つの困窮

経済的困窮と社会的孤立

① ホームレス支援の現場での気づき

1) 当時の問題意識

👉 住居喪失と失業・生活保護

2) アパート入居支援＋生活保護申請

3) 自立後、半年でゴミ屋敷化

4) 問題の所在

👉 個人的要因・・・生活自立、知的・発達障害の有無

👉 社会的要因・・・孤立状態

※人はいつ掃除をするか。人はなぜ掃除をするか

※行動の動機・意欲の情勢には他者の存在が必要

5) 自立(問題解決)が孤立に終わる(問題未解決)

②ホームレス支援から見た二つの困窮

1) 路上で…「畳の上で死にたい」

2) 自立後…「俺の最期は誰が看取ってくれるか」

👉「何が必要か」 住居、保証人、職、健康保険、携帯、弁護士

👉「誰が必要か」 心配してくれる人、一緒にいてくれる人、感謝してくれる人

3) 二つの困窮

👉**経済的困窮**(ハウスレス)

👉**社会的孤立**(社会的孤立)

※ハウスとホームは違う

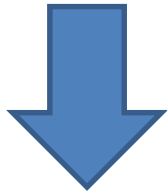
4) ホームレス中学生の現実(ホームレス襲撃事件)

👉「家があっても帰るところがない。誰からも心配されていない。俺はホームレスだからその気持ちわかるけどなあ」

👉路上の風景の全国化…「時代が路上に追いついた」

困窮の2つの側面

- ・住居がない
- ・食べ物がない
- ・着るものがない
- ・収入がない
- ・病院に行けない
- ・携帯電話がない



ハウスレス
経済的困窮



- ・家族がいない
- ・役割がない
- ・心配してくれる人がいない
- ・心配する人がいない
- ・吊ってくれる人がいない



ホームレス
社会的孤立



経済的困窮と社会的孤立が重なることで路上生活へ

4、伴走型支援の登場

課題解決型支援と伴走型支援

伴走型支援への着想

2000年5月西鉄バスジャック事件

「いじめが原因で中学三年の夏ごろより荒れ始め、まるっきり違う人格のようになり、家庭内暴力になって、何か違う方向へ行く危険性もあり不安でした。

親が気づいても病院の受診がない、診療したことがないからなどと断られる。医師、児童相談所、教育センター、教育相談所など、**いろいろ回りましたが、動いてくださる先生は一人もいらっしゃらない**。入院して20日あまり。まじめでおりこうさんを装っているとのこと。何を考えているのか、大きな不安に包まれています。入院当日、「おぼえていろよ、たたではおかないからな」という言葉が忘れられません。心が開けない状態で退院となれば、今まで以上に暴力がひどくなるのではと不安です。心の闇がもっと広がるような気がします。このまま自分を封じ込めた闇の中で一生を終わってほしくありません。しかし、一筋なわでいかない強さももっていて、繊細で、敏感で、私たちの行動を見抜いて動いているようなところもあります。入院先の先生にお任せするしかありませんが、退院後の不安が強すぎて力がわいてこないのです。」

※一緒に動いてくれる人—伴走型支援の必要性

これからの支援の両輪

①課題の解消を目指す

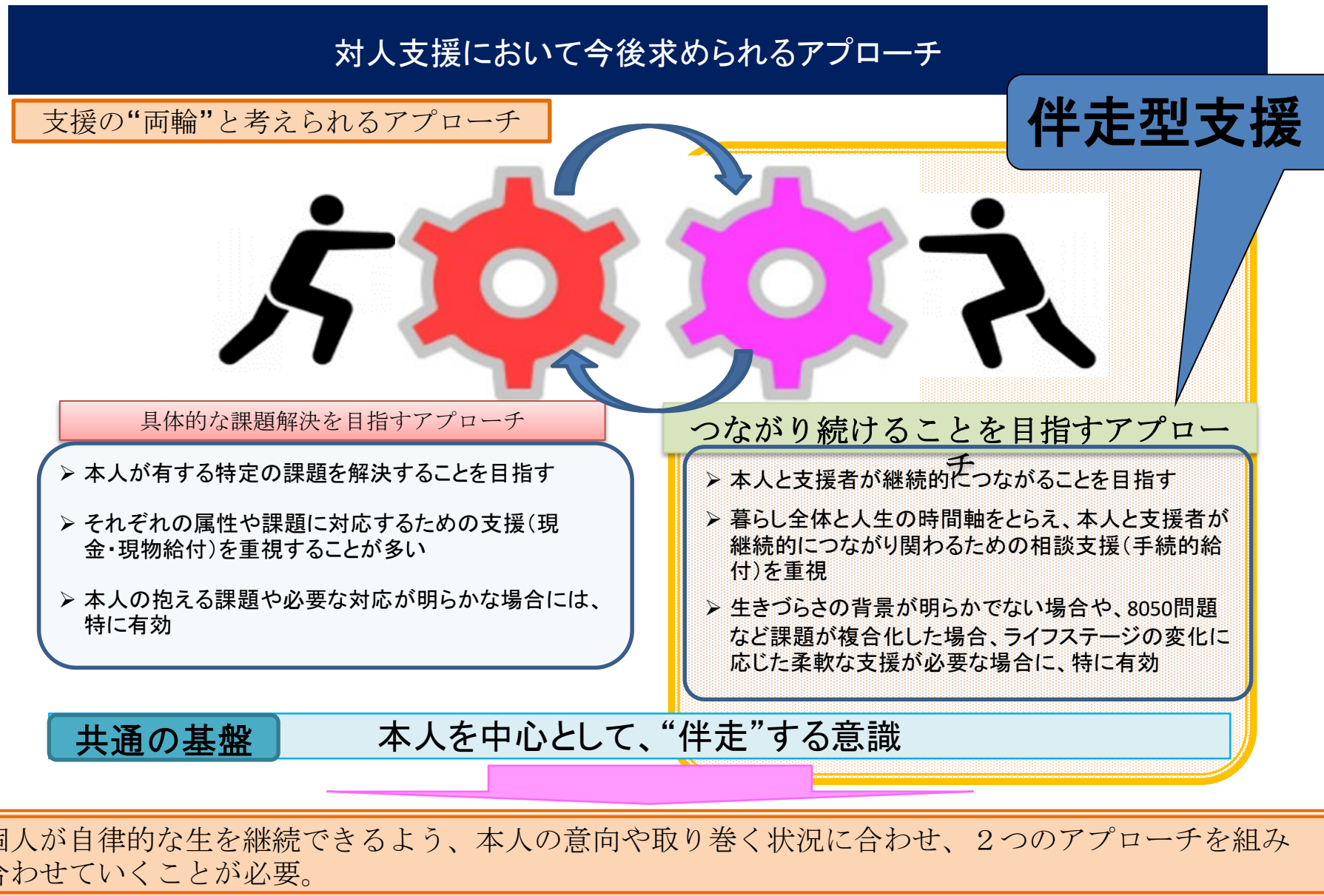
 問題解決型支援

②つながり続けることを目指す

 伴走型支援

(厚生労働省重層的支援体制整備事業で採用)

厚労省が提唱してきた孤立に着目した伴走型支援が
厚労省の次年度施策に明記された。



厚生労働省令和元年12月
地域共生社会推進検討会議最終まとめ

2010年

「伴走型支援士認定講座」開始

1級講座 5回開催 受講生160人

2級講座 17回開催 受講生914人。

1. ホームレス支援全国ネットが実施する人材育成事業

- 2010年度より、ホームレス支援に携わる人材の育成について検討を開始。
- 問題解決だけでなく、関係構築をも目的とした言葉である「伴走型支援」を中心にすすめることとし、人材育成事業として「伴走型支援士認定講座」を開講。
- 座学、グループワークで構成された講座と、専用テキストを開発する。
- 2012年3月に大阪市で第1回伴走型支援士認定講座実施（受講生88名）。
- 現在までに1級を5回開催、受講生160人。2級を16回開催、受講生914人。

受講生の属性と受講生の反応(第16回2級認定講座より)

1) 受講生の職種

福 祉	居 住	その他
<ul style="list-style-type: none">・ ホームレス支援団体・ 生活困窮者支援団体・ 高齢者支援団体・ 障害者支援団体・ 社会福祉協議会・ 隣保館・ 社会福祉士	<ul style="list-style-type: none">・ 居住支援法人・ 家賃保証会社・ 不動産事業者	<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関・ 復興支援団体・ 所属なし・不明

2) 受講生の経験年数

未経験	10
1 年未満	3
1 年以上-5 年未満	8
5 年以上-10 年未満	6
10 年以上-15 年未満	3
15 年以上-20 年未満	1
20 年以上	0
未記入	4

参考資料. 認定証、認定カード、受講生アンケート



伴走型支援士（２級）認定証

氏 名 見本 花子
認定番号 2-000000
初回認定日 2012年3月11日
有効期限 2022年3月10日
交付日 2017年3月11日



上記の者を伴走型支援士（２級）として認定いたします。

特定非営利活動法人 ホームレス支援全国ネットワーク
伴走型支援士資格認定委員会
委員長 炭谷 茂

- ◆本認定証は伴走型支援士であることを証明するものです。
- ◆本認定証の他人への貸与・譲渡はできません。
- ◆本認定証は有効期限を過ぎた場合、無効となります。
- ◆本認定証の表記内容を改変したり不正使用した場合、無効となります。
- ◆認定者の住所変更、氏名変更等につきましては、下記までご連絡ください。
- ◆本認定証を拾得された方は、下記までご連絡ください。

特定非営利活動法人ホームレス支援全国ネットワーク
伴走型支援士資格認定委員会 事務局 TEL: 093-651-7557

5、伴走型支援の効果

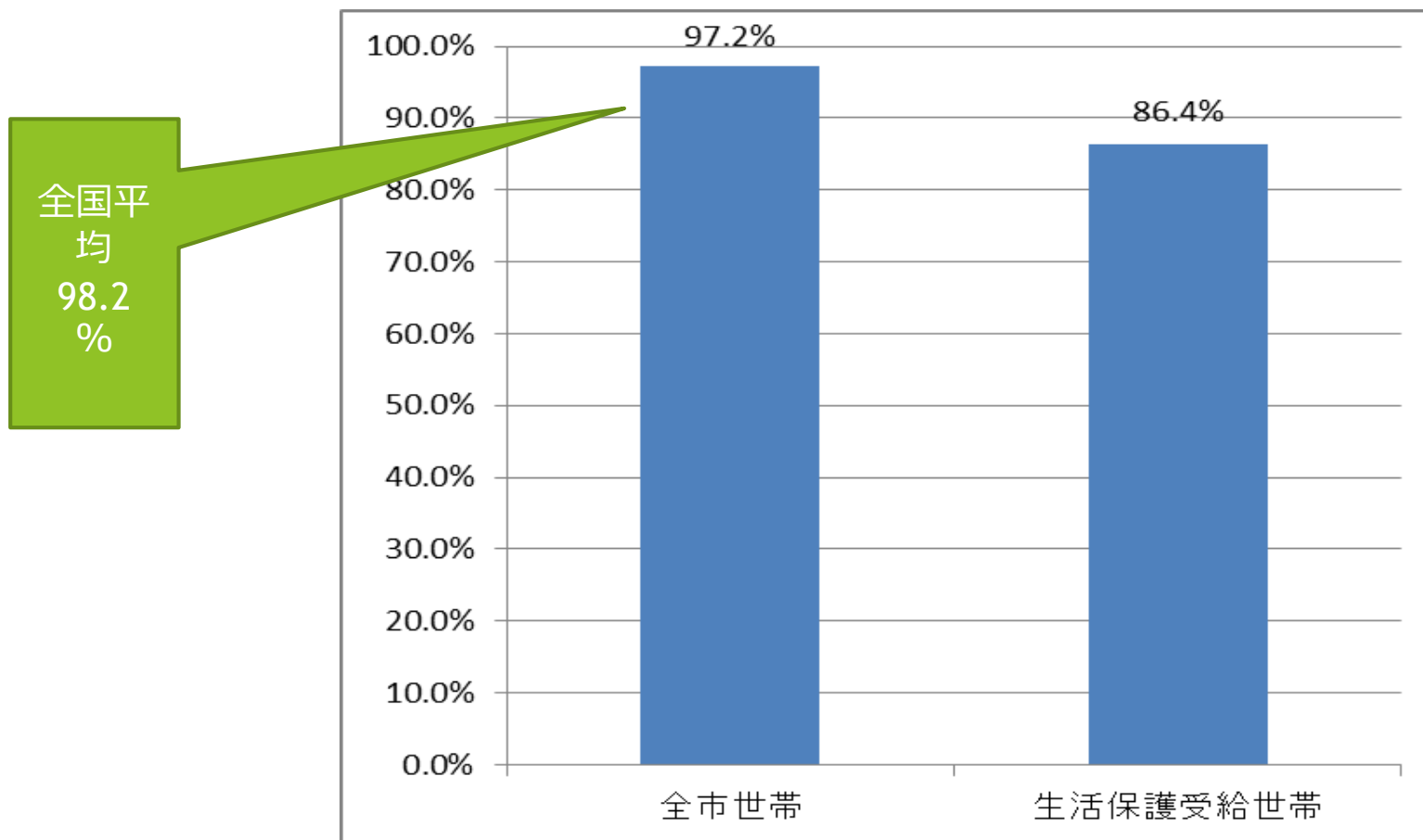
貧困のスパイラルを止める

自律を支援する

物語化

第一のスパイラル

経済的困窮が社会的孤立を招く



生活保護世帯の子どもの数・
進学率－北九州市

出典：北九州市保健福祉局保護課

経済的困窮が結婚できない状況を生み出している

正規雇用と非正規雇用の賃金格差と社会参加

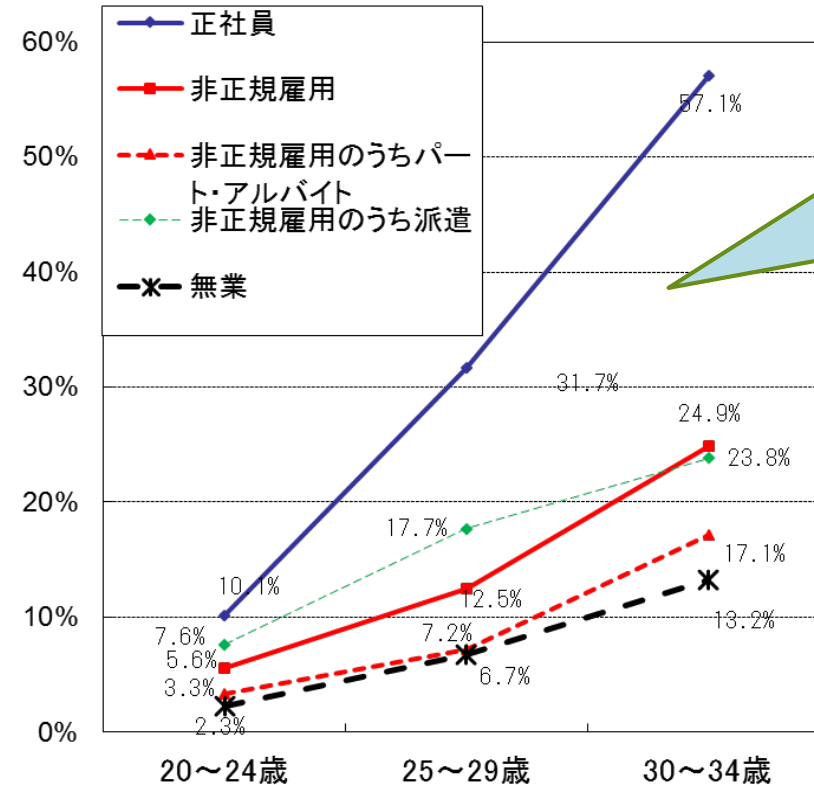
正規雇用と非正規雇用の1人当たり平均給与

	平均給与	うち正規	うち非正規
計	408万円	468万円	168万円
男	502万円	521万円	226万円
女	268万円	350万円	144万円

男性の正規雇用
と非正規雇用で
は、年収は半減
以下に落ちる

資料：国税庁「民間給与実態統計調査」（2012年）

就労形態別配偶者のいる割合（男性）



男性30歳時点正規
雇用既婚率
約60%。
非正規雇用既婚率
25%
半減

資料：労働政策研究・研修機構
「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状」（2009年）より作成。

👉 金の切れ目が縁の切れ目

第二のスパイラル

社会的孤立が経済的困窮を招く

■他者の存在が生きる意欲や動機付けとなる

■人は、何のために働くのか？

☞お金のため、食べるため

☞内発的動機・・・自分が諦めたら終わり

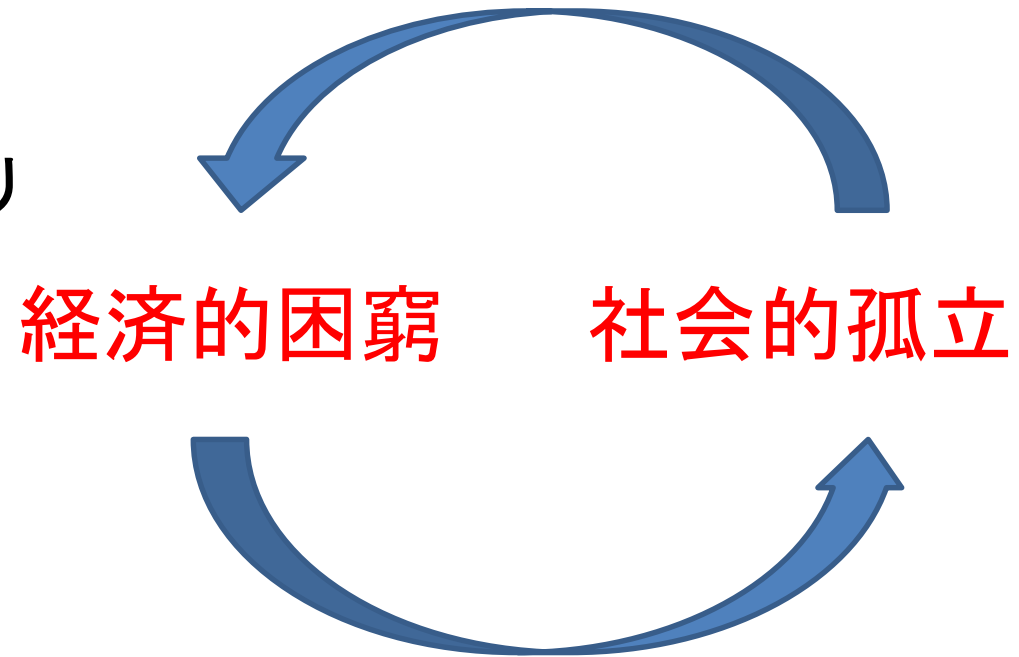
■人は、誰のために働くのか？

☞愛する人のため

☞外発的動機・・・踏ん張れる

■野宿11年の西原さんが野宿になった理由

☞「考えてみたら母ちゃんが出て行ったことかなあ」



※縁の切れ目が金の切れ目

伴走型支援はの効果👉物語の創造

■物（現金・現物）を物語に変える・・・他者の存在

- 👉ホームレスの食事「エサ」・・・残飯「犬猫と一緒に」
- 👉しかし炊き出しでもらう物・・・「お弁当」
- 👉食べ「物」でいうと両者はあまり変わらない
- 👉しかし、「物」に人が関わることで「物」が「物語」となる

■社会保障とは何か？

- 👉「現金給付」「現物給付」が中心
- 👉自律支援・・・自分の物語創造のための条件整備

「個人が人格的に自律した存在として主体的にみずからの生き方を追求していくことを可能にするための条件整備」「人間が生まれて自律的個人へと向かって成長し、不完全ながらも自律性を保持しながら、自らの人生の物語を紡いでいくうえでの条件整備のための制度」（菊池馨実著『社会福祉再考―<地域>で支える―』岩波新書）

■ある母子家庭のケース

- 👉何を食べたかは覚えていないが<誰と食べたかは忘れない

※伴走型支援 物を物語に変える支援・自律支援

6、地域共生社会と 家族機能の社会化

抱樸が目指したものの「家族機能の社会化」

従来の社会構造⇒家族・企業と制度

現在・・・家族と企業の縮小

制度の隙間と**制度との隙間**

家族による
伴走があった

家族と企業の役割
日本型社会保障の基盤

家族の限界
制度へ

制度

制度につなげる
家族が不在

家族と企業の役割
日本型社会保障の基盤

新たな
隙間

制度

家族と企業の役割
日本型社会保障の基盤

NPO抱樸・地域
家族機能の社会化
社会的相続

制度

家族(家庭)モデルの5つの機能

社会保障・・・家族機能の社会化(赤の他人の登場)

①家庭内サービス提供

サービスの提供・・・住居、食事、睡眠、看護、教育、服飾、介護

※この部分の社会化も進行中・・・ファミマお母さん食堂、介護保険

②記憶の装置

記憶・・・アイデンティティとデータベース

③家庭外資源活用一つなぎ・もどしの連続的行使

家族のニーズに応じた社会的資源をコーディネート

もどし機能・・・社会資源淘汰機能

④役割と意味の付与・・・自己有用感確保・相互性の担保 助けられるから助けるへ

⑤何気ない日常(葬儀まで)・・・問題解決ではなく、生活そのもの

日常生活支援と言う新たな分野

※良い社会とは？・・・赤の他人が葬儀を出し合う社会

NPO法人抱樸 地域互助会

家族機能の社会化―地域共生社会

- ①誰でも入会可能 年会費6000円(月額500円)
- ②会員数270名(内当事者:なかまの会 150名)
- ③世話人20名 見守り活動(定期訪問)
- ④年間行事 バス旅行、花見、新年会、誕生日会
- ⑤サロン 卓球(毎週)、カラオケ(毎週)、かふえ(毎週)
- ⑥看取りと葬儀 互助会葬と偲ぶ会(追悼集会)

⇒大家の安心へ



葬儀は家族機能そのものの**地域共生社会**とは？

赤の他人が葬儀を出し合う社会 **家族機能の社会化**





共同代表
向谷地 生良さん



高橋尚子



共同代表
奥田知志

一般社団法人
日本伴走型支援

2022年春
お楽しみに

北九州市を 「怖いまち」から「希望のまち」へ

特定危険指定暴力団
工藤會の存在



土地購入
(抱樸)
費用



北九州市

福岡県暴力追放
運動推進センター

- ・本部建屋の撤去費
- ・滞納の固定資産税
- ・襲撃事件被害者へ賠償金として支払い



「希望のまちプロジェクト」

- ・多くの人が**笑顔**で過ごせる場所へと再創造。
- ・地域に暮らす方々、子ども、若者、高齢者、生活困窮者、障がい者、生きづらさを抱えた人々が「その人らしく生きる」ために「**居場所**」と「**出番**」を提供。

市民参加型で構想

- ・「ソーシャルインパクト（社会的影響力）」を持つ「**地域共生社会**のモデル」であることを多くの人々に伝え、全国的な支援を受けつつ**地域みんなで**創っていく。

社会福祉法人「抱樸」が実施

- ・**社会福祉法人を設立**し「福祉事業を中核とした全世代型の総合的福祉施設」を構築。

■代表 **奥田知志**（NPO抱樸理事長）

■顧問 **村木厚子**（元厚生労働省事務次官）

■アドバイザー **田島良昭**（最高検察庁参与・長崎南高愛隣会顧問）

■有識者会議議長 **稲月 正**（北九州市立大学教授）

■メンバー 今後地域とご相談

■コミュニティデザイン **山崎 亮**

■応援団（2021年6月現在） **平野啓一郎**（作家）、**茂木健一郎**（脳科学者）、**手塚貴晴・由比**（建築家）、**若松英輔**（評論家・詩人）、**中川五郎**（歌手・作家）、**田ロランディ**（作家）、**三宅民夫**（アナウンサー）、**加藤秀樹**（構想日本代表）、**杉山 春**（ルポライター）、**藤田早苗**（エセックス大学ヒューマンライツ・センターフェロー）、**アサダワタル**（文化活動家）、**清水康之**（NPO法人ライフリンク代表）、**坂上 香**（ドキュメンタリー映画監督）、**西山太吉**（元毎日新聞記者）、**高橋美佐子**（朝日新聞記者）、**せやろがいおじさん**（芸人）、**雨宮 処凛**（活動家）、**内田樹**（思想家）、**釈徹宗**（宗教学者）、**神津里季生**（連合会長）、**三好 修**（三好不動産社長）、**垣迫裕俊**（北九州市社会福祉協議会会長）、**林 眞琴**（検事総長）、**金高雅仁**（元警察庁長官・日本警察協会会長）

おおまかなスケジュール

2022 年 4 月

借入返済

(1 億 3000 万円)

2023 年 2 月

**社会福祉法人
設立申請**

(予算承認後)

2024 年 10 月

**拠点施設
開所目標**



新しい地域の創る

希望のまちプロジェクト 寄付募集中！

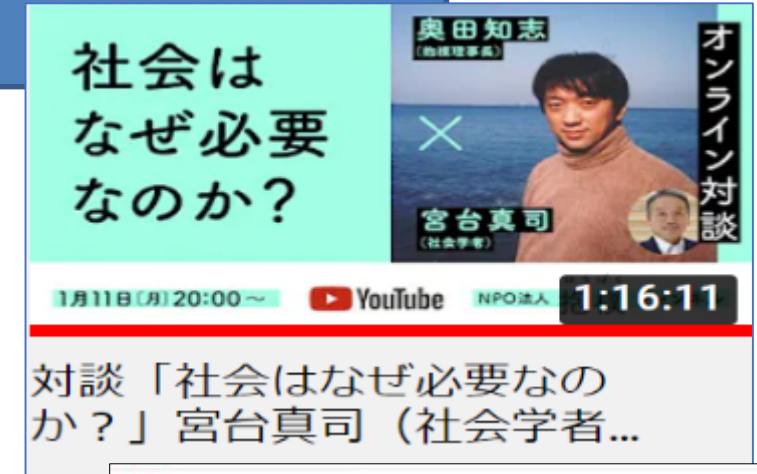
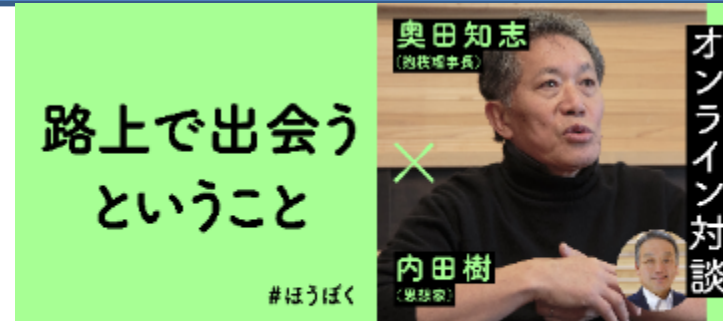
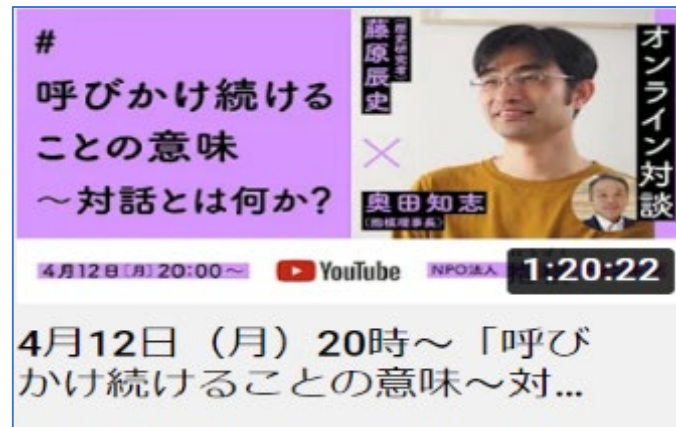
土地購入費用1億3000万円

👉 寄付現在 約7500万円

残り 5500万円

抱樸YouTubeチャンネル 登録ください！

現在5900名



新刊書籍のご案内

ホームレス・困窮者支援32年の実績が 裏づける、奥田知志「真実の言葉」

彼は問う。相模原事件、台風19号下のホームレス排除事件は特異な出来事か？ 子どもが自死を選ぶ社会はまともか？ 今こそ「自己責任」を言い訳に人を助けられない社会から、安心して出合いつながる社会へ。コロナで気づいた普遍的価値「いのち」を守るために！

奥田知志著 NOOOL (著)
978-4-907582-22-7 C0036

奥田知志

分断された社会で人とつながる

「逃げおくれた
伴走者」



【もくじ】

第1章 いのちの格差
第2章 罪ある人間
第3章 他者と出会う

第4章 生きる意志
第5章 希望のまち

【対談収録】

- ◎上田紀行さん（文化人類学者）
- ◎若松英輔さん（批評家・随筆家）
- ◎玉木幸則さん（『バリバラ』レギュラー）
- ◎茂木健一郎さん（脳科学者）

目次

「逃げおくれた」伴走者
分断された社会で人とつながる
978-4-907582-22-7 C0036

お名前

郵便番号・ご住所

〒

TEL

冊

送料・振り込み手数料無料！ クレジットカード払いはHPから

- FAX でのご注文は、申込書にお名前・郵便番号・ご住所・電話番号、冊数を明記してください。お電話でもお受けします。送料と振り込み手数料（郵便振替）は無料です。お受け取り後、郵便振替でお支払いください（本体価格＋税）。
- クレジットカードでのお支払いをご希望の場合は、弊社HPよりご注文ください。



本の種出版
bookseeds

TEL/03-5753-0195

担当 / 小林（営業部）

access@honnotane.com

http://www.honnotane.com

FAX/03-5753-0190

通常のご注文は、一般書店、Net 書店から可能です。

新刊が出ました！
収益は、NPOの支援
に充てられます。

応援ください！！

①NPO法人抱樸の取り組み

検索👉「ほうぼく」

②認定NPO法人への寄付

1) マンスリーサポーター

2) 都度寄付

3) 法人会員

⇒所得税控除の対象



ご清聴ありがとうございました。
ございました。